

平成 20 年 10 月 20 日



各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 川 亨
(コード番号 4813 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役
兼 最 高 執 行 責 任 者
COO 兼 専 務 執 行 役 員 安 井 俊 哉
(TEL. 03 - 5259 - 3564)

ACCESS Linux Platform に関するお知らせ

株式会社 ACCESS (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒川 亨) の戦略製品である「ACCESS Linux Platform™」に関し、本日添付内容のリリースを行いましたので、ご報告いたします。

なお、本件による当社グループ業績予想に影響はございません。

以上

2008年10月20日

報道関係者各位

株式会社 ACCESS

**最先端のモバイル Linux プラットフォーム
「ACCESS Linux Platform v3.0」と「ACCESS Linux Platform mini」を発表**

株式会社 ACCESS (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒川 亨、以下 ACCESS) は、モバイル Linux®プラットフォームの最新版として、「ACCESS Linux Platform™ v3.0」並びに、今後携帯端末分野において高い成長の見込まれる新興市場のニーズに最適化した「ACCESS Linux Platform™ mini」を、本日ウェスティンホテル東京にて開催する「ACCESS DAY 2008」にて発表いたします。また同時に同会場の展示ブースにおいて、「ACCESS Linux Platform v3.0」が実現する携帯端末の操作性についてデモンストレーションを行います。

「ACCESS Linux Platform v3.0」は、次世代携帯端末向け統合ソフトウェア・プラットフォームの最新版です。LiMo Foundationの仕様をサポートし、通信事業者独自のサービスを実現する、統合アプリケーションパッケージであるオペレータパックに対応しています。またユーザの使い易さに配慮し、Linux特有の柔軟性を最大限活かした、高度なユーザインターフェースを実現しています。

さらに「ACCESS Linux Platform v3.0」には、共通プラットフォームとして、端末の開発効率を高め、APIの公開やSDKを提供することで、その上で動くサードパーティの魅力あるアプリケーションを集めやすいという優位性があります。ACCESSでは、サードパーティへの取り組みとして、「ACCESS Linux Platform™」向けの開発者サイト(ACCESS Developer Network : www.accessdevnet.com)を運営しており、2008年2月からは無償で開発キット(SDK)を提供しています。今後は「ACCESS Linux Platform v3.0」対応のSDKを公開することで、サードパーティが開発するアプリケーションのさらなる充実を目指し、本プラットフォームの魅力を高めていきます。

ACCESSのLinuxソリューションの最新版として同時に発表する「ACCESS Linux Platform mini」は、限られたハードウェア環境の携帯端末および情報家電向けに設計された、コンパクトなLinuxプラットフォームです。「ACCESS Linux Platform mini」は、拡張性も高くカスタマイズが柔軟なプラットフォームで、ローエンドスマートフォンから、ポータブル・ナビゲーションやポータブル・メディアプレイヤー、セットトップボックスなど、様々な機器に幅広く対応できるアプリケーションを備えています。

「ACCESS Linux Platform mini」は、低価格帯ながら充実した機能を備える携帯端末や MID (Mobile Internet Device)などのインターネット端末を求める新興市場のニーズに応えるもので、既に中国や台湾などで出荷されている Haier Co., Ltd. や Shanghai Novarobo Technology Co., Ltd.といったメーカーの機器に採用されています。

ABI Research のバイスプレジデント 兼 モバイル・ワイヤレス担当、リサーチディレクターの Stuart Carlaw 氏は、「『ACCESS Linux Platform mini』は、スマートフォンユーザだけでなく、すべての機種の対象ユーザの ARPU(加入者一人あたりの月間売上高)を引き上げ、通信事業者に費用効果をもたらす可能性を秘めています。『ACCESS Linux Platform mini』は、新興市場を含め、多くの市場地域のユーザに対し、新進な操作性を提供するための画期的なものとなるでしょう」と述べています。

「ACCESS Linux Platform mini」は、ミドルウェアとカスタマイズ可能なアプリケーション、ACCESS が増強した Linux カーネル、ソフトウェア開発キットを包括的に提供します。

「ACCESS Linux Platform mini」のハードウェア要件は以下の通りです：
200MHz CPU、32MB RAM、32MB ROM

「ACCESS Linux Platform mini」の主な機能は以下の通りです：

- 画期的なユーザインターフェース設計
- コンポーネントとサービスを基盤にしたオープン・アーキテクチャ
- 開発環境：Windows 環境における Visual C++ 統合開発環境
- 「NetFront® Browser」を プレインストール
- 「NetFront® Browser Widgets」対応（オプション）
- ACCESS™ Media Music Player を統合
- マルチメディアアプリケーションと RSS 同期
- PIM 同期
- GPS
- モバイル TV
- 携帯機器やセットトップボックス、PND/PMP を含む複合プロファイル

ACCESS 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 荒川 亨は、「Linux のオープン性と柔軟性により、革新的な携帯電話とインターネット接続機器が今後登場して来るでしょう。ACCESS は、『ACCESS Linux Platform mini』と、『LiMo Foundation』仕様をサポートする『ACCESS Linux Platform v3.0』により、スマートフォンや多機能な携帯電話、インターネット接続機器などに最適な幅広いソリューションを顧客に提供し、次世代のモバイルインターネット利用促進に貢献していきます」と述べています。

■株式会社 ACCESS について

ACCESS は、携帯端末および情報家電向け組み込み型インターネットソフトウェアの分野で市場をリードしています。「NetFront® Browser」を始め「Garnet™ OS」「ACCESS Linux Platform™」など、柔軟かつ拡張性が高いテクノロジーを提供し、次世代端末の速やかな市場投入を実現可能としています。2001年2月26日に東証マザーズに株式を公開(4813)、アメリカ、アジア、ヨーロッパの各地域に子会社を運営し国際展開にも注力しています。

ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront、ACCESS Linux Platform は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。

The registered trademark LINUX® is used pursuant to a sublicense from Linux Mark Institute, the exclusive licensee of Linus Torvalds, owner of the mark on a world-wide basis.

Windows、Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ

報道機関からのお問い合わせ

TEL : 03-5259-3685

E-Mail : prinfo@access.co.jp

投資家・株主からのお問い合わせ

TEL : 03-5259-3564

E-Mail : ir_o@access.co.jp